

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2016-133827(P2016-133827A)
 【公開日】平成28年7月25日(2016.7.25)
 【年通号数】公開・登録公報2016-044
 【出願番号】特願2015-6035(P2015-6035)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

G 0 6 F 3/0485 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 2 0

G 0 6 F 3/048 6 5 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月29日(2016.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部と、

上記表示部の表示領域とは異なる位置に配置された操作面と、

上記操作面に配置された物理的なキーと、

上記操作面に近接または接触する物体を検出する物体検出部と、

制御部とを備えた情報処理装置であって、

上記制御部は、

上記物体検出部に対する操作による、上記表示部が表示するカーソルの移動、および、上記カーソルがある位置での決定の入力を可能にするポインタモードを有し、

上記ポインタモードにおいて、上記キーが押下されたとき、上記カーソルを非表示状態にさせることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

上記制御部は、上記ポインタモードにおいて、上記カーソルが上記非表示状態であるとき、上記物体検出部に対する操作に応じて、上記カーソルを表示状態にさせることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

上記制御部は、

上記物体検出部に対する操作による、上記表示部の表示領域内の表示のスクロールを可能にするスクロールモードをさらに有し、

上記ポインタモードにおいて、上記物体検出部に対してロングタップがなされたとき、上記スクロールモードに遷移することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

上記制御部は、上記スクロールモードにおいて、上記物体検出部に対してシングルタップがなされたとき、上記ポインタモードに遷移することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

上記制御部は、上記スクロールモードにおいて、上記物体検出部に対する操作がなく所定時間経過したとき、上記ポインタモードに遷移することを特徴とする請求項3または4に記載の情報処理装置。

【請求項6】

上記制御部は、上記スクロールモードにおいて、上記表示部に、上記スクロールモードに関連付けられた所定の標識を表示させることを特徴とする請求項3～5の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

上記制御部は、

上記ポインタモードから上記スクロールモードに遷移するとき、上記表示部に、上記物体検出部に対するタッチダウンの位置に対応する位置に上記標識を表示させ、

上記スクロールモードでは、上記物体検出部に対する操作がなされても、上記標識の位置を変化させないことを特徴とする請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項8】

上記表示部の表示領域の座標系と上記物体検出部の検出領域の座標系とが対応付けられており、

上記制御部は、上記スクロールモードにおいて、上記物体検出部が検出した上記物体が、上記検出領域の座標系の座標軸と交わる方向へ斜め移動したとき、上記検出領域の座標系における上記物体の斜め移動の方向および量に対応する上記表示領域の座標系における方向および量によって、上記表示部の表示領域内の表示を上記表示領域の座標系において斜め移動させることを特徴とする請求項3～7の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項9】

上記制御部は、

上記物体検出部に対する操作が無効化されるキー操作モードをさらに有し、

上記キー操作モードにおいて、特定のアプリケーションを起動したときに、上記ポインタモードに遷移することを特徴とする請求項1～8の何れか一項に記載の情報処理装置

。

【請求項10】

上記制御部は、

上記物体検出部に対する操作が無効化されるキー操作モードをさらに有し、

上記キー操作モード以外のモードにおいて、特定のアプリケーションを終了したときに、上記キー操作モードに遷移することを特徴とする請求項1～8の何れか一項に記載の情報処理装置。

【請求項11】

情報処理装置の制御部としてコンピュータを機能させるための制御プログラムであって、上記情報処理装置は、表示部と、上記表示部の表示領域とは異なる位置に配置された操作面と、上記操作面に配置された物理的なキーと、上記操作面に近接または接触する物体を検出する物体検出部と、を備え、上記コンピュータを、上記物体検出部に対する操作による、上記表示部が表示するカーソルの移動、および、上記カーソルがある位置での決定の入力を可能にするポインタモードを有し、上記ポインタモードにおいて、上記キーが押下されたとき、上記カーソルを非表示状態にさせる上記制御部として機能させることを特徴とする制御プログラム。